

科目名	コミュニケーション英語Ⅰ	単位数	2単位	学科・学年	各科A(専門科)コース	2年
使用教科書	New Discovery English Communication I	副教材等			ニューディスカバリー イングリッシュコミュニケーションⅠ ワークブック	
学習目標	1 事物に関する紹介や対話などを聞いて、情報や話し手の考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりできる。 2 説明文や物語などを読んで、情報や書き手の考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりできる。 3 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や自分の考えなどを相手に伝えたり、意見を交換したりできる。 4 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどについて簡潔に書くことができる。					
学習評価	○ 次の四つの観点に基づき、学習内容のまとまり(定期考査までを学習のひとつとまとまり)ごとに下の評価規準により評価を行い、学年末に5段階の評定に総括します。					
	①関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。 ①間違いを恐れず、積極的に言語活動を行うとしている。 ②さまざまな工夫をすることでコミュニケーションを続けようとしている。				
	②表現の能力	日常的な話題について、情報や考えなどを英語で話したり、書いたりして表現する。必要な語句や表現、文法を活用して、与えられた課題に答えたり、考えや気持ちを伝える。①情報や考えなどを正確に話したり書いたりすることができる。 ②学んだ言語材料を使って、文章を書くことができる。				
	③理解の能力	日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどが相手に伝えようとすることを理解する。文章の構成や展開の仕方を理解する。①本文を読んで内容や場面を正確に読み取り、理解することができる。 ②英文を聞いて、内容を聞き取り、理解することができる。				
	④知識・理解	日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解している。①言語に対する知識：言語材料を正しく理解し、運用することができる。 ②文化に対する知識：課で扱ったトピックや問題などについて理解することができる。				
		評価方法\観点	①	②	③	④
		ペーパーテスト	—	○	◎	◎
		提出物	◎	○	○	○
		学習状況観察	◎	—	—	—
		学習活動への参加状況	◎	◎	○	○
						定期考査、課題テスト
						ノート、ワークシート提出
						自己評価の実施
						ペア・ワークの取組、授業中の発言の内容など
履修上の注意	○ 英語は、毎日学習することが大切です。この計画を参考にして、進んで学習する習慣を身に付けましょう。 ◇授業は必要に応じ、板書したり、プリント等を利用するので、ノートやファイルとじを用意して下さい。(ルーズリーフ不可) ◇予習→授業→復習の学習サイクルを早期に確立し、予習で分からない点を明らかにしてから、授業に臨みましょう。 ◇英語は、声を出して学習すること、学んだ表現を実際にできるだけ多く使ってみることが上達の秘訣です。					

学期	月	時	課	題材・ねらい	主な言語材料 基本文(抜粋)	言語学習活動	○評価規準 [評価の方法]	
				□単元の目標・身につける機能表現				
1学期 中間まで	4	5	12	1	Useful Tools for Communication <題材>メールの顔文字・略語についての雑学 (ねらい) メールで用いられる顔文字や ASAPのような略語が用いられる理由を考える。 <機能・表現> □ 相づちを打つ I see. □ 肯定する・否定する That's right. (Yes, Noに代わる答え方) □ 例示する For instance	文法事項 時制(現在・過去), 進行形 接続詞、助動詞 単語、連語、慣用表現 単語、連語、慣用表現 by the way / be different from ~ / as soon as possible / the same ~ as ... / for instance / have to ~	・文章読解(説明文) メールなどの顔文字に関する説明文を読み書かれてあることの概要や要点を把握理解する。 ・いくつかの顔文字と略語が表す意味について、英語で話し合う。	・説明文の要旨を正しく理解する。 [(後日) 筆記テスト] ・自分の考えを積極的に話そうとしている。 [活動の観察] ・質問を聞いて、適切に応じる。 [活動の観察]
1学期 期末試験	6	7	12	2	Japanese Foods in the World <題材>海外で人気がある日本食(ねらい) 緑茶やおにぎりといった日本食が外国でどのようにアレンジされているかを知る。 海外での日本食の進化について知識を得る。 <機能・表現> □ 助言・提案する should, Why don't you? □ 確認する 付加疑問文 □ 依頼する please, Would [Could] you~? □ 実際には実現できなかったことを表す tried to~, attempted to~など	文法事項 受け身 比較表現、動名詞 S+V+C, S+V+O S+V+O+C, S+V+O1+O2 S+V+O (=that節) 語、連語、慣用表現 No way! / according to ~ / in fact	・文章読解(説明文) Study Grammar 文法事項の理解 ・対話(食べ物) 外国由来で日本風になった食べ物を調べ、英語で話し合う。 ・英作文 外国由来で日本風になった食べ物について説明する文を書き、発表する。	・事物の具体例を挙げて話す。 [活動の観察] ・事物を解説する文を正しく書く。 [記述分析]
2学期 中間試験まで	9	10	12	3	Dog Saves Owner from Fire <題材> 体の不自由なハンソンさんの家が火事になったとき、愛犬ジェシーの捨て身の助けで、ハンソンさんは救われたが…。 <機能・表現> □ 驚きを表す Oh, no!, Oh my goodness!, Gee など □ 実際には実現できなかったことを表す tried to~, attempted to~など	文法事項 受け身 比較表現、動名詞 語、連語、慣用表現 at the age of ~ / on fire / be about to do / keep doing / 否定語+~ any more / in tears	・文章読解(物語文) 物語文を読んで、内容を理解する。 ・対話(自分の好み) ペットとして飼いたいものや飼いたくないものについて、英語で話し合う。 ・英作文 ペットとして飼いたいものや飼いたくないものについて、英語で書く。	・積極的に自分の好みについて話そうとしている。 [活動の観察] ・物語文の要旨を正しく理解する。 [(後日) 筆記テスト] ・メモを使って説明する文を書く。 [記述分析]
2学期 期末試験まで	10	11	12	4	Food Chain <題材> 地球上の200万種以上の生物の営みについて考える。 <機能・表現> □ 客観的に伝える (to不定詞を受ける仮主語) □ It is ~to 動詞の構文 □ 疑問詞+to不定詞	文法事項 to不定詞 語、連語、慣用表現 as a result / one after another / fall prey to ~ ... / consist of ~ / a great number of ~ / in order to ~ It is ~ (for ...) to不定詞 疑問詞+to不定詞	・文章読解(社会問題) 特定のテーマについての問題提起のある説明文を読んで、内容を理解する。 ・対話(討論) 日本のさまざまな場所でも悩まされているシカの被害の事例をもとに、生態系を守ることがなぜ大切なのかを考える。	・説明文の要旨を正しく理解する。 [(後日) 筆記テスト] ・賛否の意見を積極的に発言しようとしている。[活動の観察] ・相手の意見に適切に応じて、まとまりのある内容を発言する。
3学期 学年末試験まで	12	1	12	5	Useless or Useful? 絶滅に瀕している動物の実態についての英文を読み、それらの動物を救うにはどうしたらよいか考える。 <機能・表現> □ 分詞の形容詞用法 □ S+V+O+to不定詞 □ S+V+C(=that節)	文法事項 分詞の形容詞用法、連語、慣用表現 take ~as... / in doing / lead to / in case of ~ / hit upon / and so on / result in / be afraid of ~ S+V+C (=that節)	・文章読解(教養) 人々を笑わせ、考えさせる業績「イグノーベル賞」の存在を知り、自分の感想も述べられるようにする。 ・英作文 話し合ったことを基にして、ばかばかしくもユーモアのある賞について意見を書く。	・国際的な話題について積極的に発言しようとしている。 [活動の観察] ・例を挙げ、その例について具体的に説明する。 ・まとまりのある説明文を書く。